

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 庄内総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	鶴岡市菅野代 地内			事業主体	温海町森林組合
整備面積	25.0ha	樹種	スギ	林 齢	30～58年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育し、著しく生長の悪い不良木や枯損木も目立つ状態であった。</p> <p>本事業において間伐を行うことで、健全な森林に生育するとともに、森林作業道を整備することにより今後も適正な管理が継続的に行われ、公益的機能が持続的に発揮される森林になることが期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	酒田市上青沢 地内			事業主体	有限会社遠田林産
整備面積	10.2ha	樹種	スギ	林 齢	50～59年生
整備内容	<p>当該箇所は、長期に渡って放置されたため、雑木の侵入もあって林内が過密な状態であり被圧木や枯損木が目立つ状態であった。</p> <p>本事業において間伐を行うことで、健全な森林に生育するとともに、森林作業道を整備することにより今後も適正な管理が継続的に行われ、公益的機能が持続的に発揮される森林になることが期待できる。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み
 【平成30年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 庄内総合支庁

整備区分	里山林整備 【 単木的整備 (松くい虫被害木処理) 】				
整備箇所	酒田市宮海 地内 ほか			事業主体	山形県
整備面積	87ha	樹種	クロマツ	林齢	56~111年生
整備内容	当該箇所は、海岸前線部のクロマツ林であるが、松くい虫被害木や手入れ不足による枯損木が増加し、飛砂防備効果の発揮が懸念されていた。 このため、本事業により病害虫被害木等の伐倒除去を行うことで、荒廃した海岸林の活力再生と居住環境の改善を図った。				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 森林景観整備 (除伐、下草刈り) 】				
整備箇所	遊佐町上蕨岡 地内			事業主体	遊佐町
整備面積	1.0ha	樹種	スギ	林齢	49~56年生
整備内容	当該箇所は、主要地方道沿線のスギ林で、被圧木が目立ち、灌木等が繁茂するなど林内は過密な状態で、景観が著しく悪化しており、健全な森林環境の維持が困難な状態であった。 このため、スギの除伐、下草刈りを実施し、景観の保全を図った。				



整備前



整備後